

〔所 感〕

長崎市議会議員 吉原 孝

長崎市ブラジル公式訪問団所感

- 1 約24時間の飛行機の搭乗は、遠い国ブラジルの印象が大であった。
- 2 姉妹都市サントス市との40周年記念交歓
ペペ市長と懇談し、ちょうど選挙間近の時期であり、選挙制度、任期、選挙運動について話す。
- 3 姉妹都市提携40周年記念行事は報告書のとおり
式典後、路面電車に乗車し、約20分、100年前と同じ軌道を走る。
旧市街の観光振興に、今後十分活用できると思った。
- 4 移民上陸記念碑とモニュメントを視察、隣接するサーフィン博物館で原爆写真展のオープニング
来場者が写真を真剣な眼差しで見ておられる姿を拝見し、写真展をこれから多くの国や都市で開催し、核廃絶に対する関心を高めていく必要性を感じる。
移民上陸記念碑の親子3人がやや右前方を見ている像を見て、異国の地へ上陸し、不安と期待を胸に秘めた姿が印象に残った。
- 5 南米最大の貿易港と旧市街地（古い建造物が多い）と近代的ビルが林立する素晴らしいビーチが続くリゾート地を併せ持つサントス市の今後の発展に注目したいと思う。
- 6 世界有数のクラブサッカーチーム サントスFCの皆様には、リベイロ会長以下全ての皆様のおもてなしに心から感謝申し上げます。
施設の素晴らしさ（競技場、練習場、宿泊施設、リハビリ施設等）、食事の美味しさ、全てに完璧でした。同行した中学生のサッカー選抜チームの皆さんも同感だったと思う。
また、長崎の親善試合を拝見し、レベルを抜きに若者同士の交流の大切さを実感した。我が母校桜馬場中学校から参加していた小森、黒田両君もよくがんばっていた。看板選手のネイマールとの記念写真も宝物になったと思う。
- 7 在サンパウロ日本国総領事館の小林氏より、在ブラジル日系社会事情説明を受ける。
(1) 基本事情、政治関係、経済関係の話の中で、日本とブラジルの友好関係が深まっている。

- (2) 日系企業が盛んに進出している。
- (3) 日本移民の苦勞、現在の各方面での活躍
- (4) 広大な国土の中で輸送コスト削減のためのインフラ整備計画
- (5) 資源大国の有望性について 等の説明があった

8 本県への海外技術研修員及び県費留学生との懇談会

- (1) 研修生の割合を南米各1人をブラジル1人にして欲しい。
- (2) 語学基準（日本語）の緩和
- (3) ビザ取得の簡素化
- (4) 小学校間の交流…長崎県の小学校の紹介をしてほしい。 等の要望を受けた。

小学校間の交流を除いて他は厳しいとの答弁が知事よりあった。

9 県人会との交流懇談会

- (1) サンパウロで開催される日本人祭りに長崎の物産展示を検討してほしい。
- (2) 3.11 東日本大震災に6億円寄贈
- (3) 青少年交流で1～2ヶ月間で1～2名のホームステイ受け入れを検討してほしい。
- (4) 2014長崎がんばらんば国体に向け、県人会創立50周年事業として訪問したいので受け入れを検討してほしい。
- (5) 人的、文化、経済交流拡大、促進の要望

要望に沿えるよう努力するとの答弁が知事よりあった。

10 県人会創立50周年記念式典

- (1) 85歳以上の方々の表彰があった。
- (2) 移民後のご労苦を思うと胸が熱くなった。
- (3) 演芸会が盛大で、日系3、4世、1、2世の方々が日舞や「長崎の鐘」などを披露した。
- (4) 青い目の人、黒人系等、移民の歴史を感じる。
- (5) 全員で「ふるさと」を合唱した時、様々な方々の想いを感じながら、熱い気持ちになった。
- (6) 異国の地でのこれまでのご労苦に心から敬意を表したい。
- (7) 友好を深める努力を今後一層強めなければならぬと新たな決意をした。